

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	救急救命士を養成することで、より高度な医療行為を施すことで、症状の著しい悪化を防止するため必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	時代情勢が救急救命士を求めているために必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	救急救命士を養成することが目的であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	救急救命士による救急隊員への指導によって、他の救急隊員の質の向上を図るとともに、町民に対する応急処置の指導に生かされている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	AEDの取り組み及び救急講習会等を町民に対し実施することで、成果の向上に繋がる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	適切な応急処置ができなくなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	時代情勢が求めており、必要不可欠であるため削減できない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	必要最小限の人件費であり、削減することはできない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担はない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	救急救命士を養成することで、患者の症状が著しく悪化することを防止するため、現在のところ計画の見直す必要はない。
		有効性	救急救命士による救急隊員への指導によって、他の救急隊員の質の向上を図るとともに、町民に対する応急処置の指導に生かされている。
		効率性	必要最小限の事業であり、現在のところ計画を見直す必要はない。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりに
		有効性	傷病者の生命を守るため、救急救命士の養成は急務である。今後も計画的に職員の研修を行い、救急救命士の資格取得に努め、住民への講習等の実施により効果を向上させること。
		効率性	計画的な研修参加を行い、経費の適正な執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。